

2007 年 12 月 18 日

郵便局株式会社 東京支社

オリジナルフレーム切手の販売について

郵便局株式会社 東京支社(港区麻布台 1-6-19、支社長 鈴木清晃)は、下記のとおりオリジナルフレーム切手を販売します。

このたびのオリジナルフレーム切手は、郵便局株式会社が民営化後初めて販売するものであり、東京の全郵便局（簡易郵便局を除きます）での販売となります。

記

1 切手の概要

名 称	湯島天神
発 行 日	平成 1 9 年 1 2 月 2 0 日 (木)
販売期間	平成 1 9 年 1 2 月 2 0 日 (木) ~ 平成 2 0 年 3 月 1 9 日 (水)
デザイン	湯島天神の風景
発行部数	5 0 , 0 0 0 部 (予定)
販売地域	東京都内の全郵便局 (簡易郵便局を除きます)
シート構成	1 シート 8 0 円切手 × 1 0 枚 (縦 2 枚・横 5 枚)
販売単価・販売単位	1 , 2 0 0 円・1 シート単位

2 切手デザイン
別紙のとおり

3 その他

- (1) オリジナルフレーム切手は、通信販売を行っていませんので、それぞれの販売地域の郵便局でお買い求めください。
- (2) 詳細については、下記の連絡先へお問い合わせください。

以上

【報道関係の方のお問い合わせ先】

郵便局株式会社東京支社企画部総務課 (広報担当)

電話 : (直通)03-5574-9505

(FAX)03-5574-9528

【お客さまのお問い合わせ先】

郵便局株式会社東京支社営業本部 (営業推進担当)

電話 : (直通)03-5574-9545

湯島天神



湯島天神宮は、通称「湯島天神」と言われており、

創建は、徳川二年(四五八)

徳川天皇の勅命により天之子力雄命を
お祀りしたのが始まりと伝えられる。

正平十年(一三五五)には、

「学問の神様」菅原道真公(天神さま)を合祀し、
徳川家康公が江戸城に入る際、
湯島天神を駕く雲取し、泰平の世が永く続き、
文社の中心として大いに賑わうようにと
五石の朱印地を寄進した。

その後、字者・文人の参拝も絶える事無く続き、
林道春、松水尺五、石川啄木、
横山大観などの名がみえる。

二月には、江戸時代から梅の名称の
「湯島の白梅」としても知られるように、
境内におよそ三〇〇本ある梅が

一斉に見頃を迎え大勢の参拝者で賑わう。

現在の御本殿は、

平成十四年(一九九〇年)大祭を記念し、
平成七年、後世に残る総尾州檜の
模造地により御造営。

現在、境内には、

郵便局 完価1,200円

湯島天神様(複製)村野保典



NIPPON 80



NIPPON 80



NIPPON 80



NIPPON 80



NIPPON 80



NIPPON 80



NIPPON 80



NIPPON 80



NIPPON 80



NIPPON 80

- 切手と写真部分を郵便物に貼って、ご利用いただけます。
- 写真部分だけでは、切手としてご利用いただけません。
- 郵便料金納付のためにこの切手をご利用の場合、写真部分に消印がかかることがあります。